

少彦名神社参籠殿修復イベント - おが 大鋸挽き体験

日時：2014年5月25日(日)13:00～15:00(雨天決行)

場所：愛媛県大洲市菅田町大竹甲 1318-2 少彦名神社鳥居付近

指導：中野安則(棟梁) 山本耕平(家具職人) 三好洋市(製材所) 和田耕一(建築家) 二宮一平(建築家)

昔のおおきなノコギリを使ってみんなで木を製材してみよう！

右の写真は機械での製材技術が向上するまでは日本全国で行われていた製材方法です。人の大きさに対してどれだけ大きかったかが分かります。

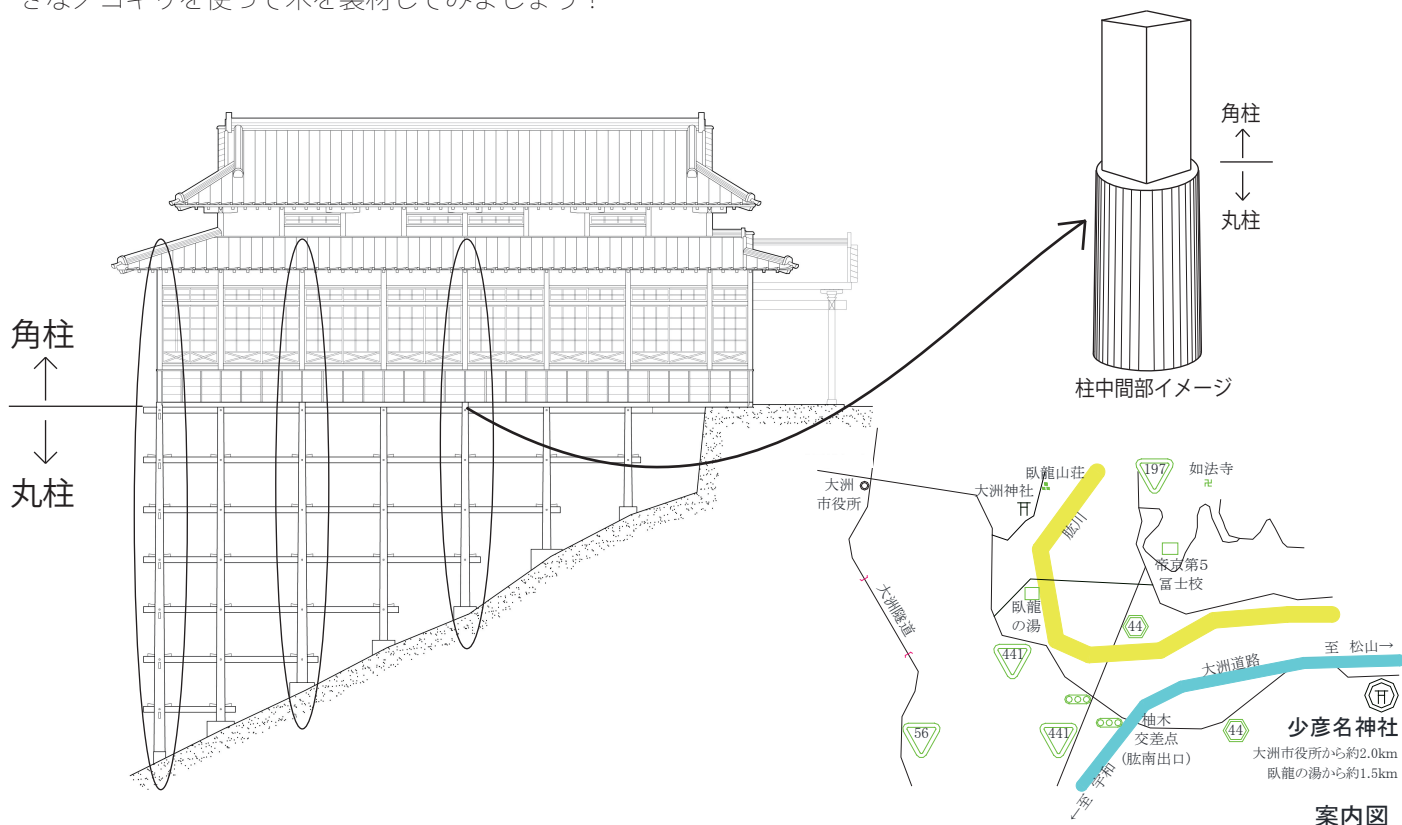
下の図(参籠殿 立面図)の長丸で囲ってある柱は通し柱といって下から上までつながった一本の柱で出来ています。これから修復しようとしている建物です。下側は丸太のまま上側は角に切り取られています。この柱はどのようにして切りだしていたのだろうか？

この建物が建ったのは昭和9年です。この時代になると機械製材の技術も向上してきた頃で、人力でやったか機械でやったかまだ解明はされていません。

今回は、これから修復の本格的な修復が始まる建物の間で、人力でやっていたと仮定して大鋸(おが)という大きなノコギリを使って木を製材してみましょう！



写真・前挽き大鋸製材「木を読む」林以一 小学館 から抜粋



主催：少彦名神社修復実行委員会(ECOSAR) ワールドモノユメント財団
共催：おすくな社中 JIA愛媛地域会
後援：大洲市 大洲市森林組合 愛媛新聞社
連絡先：少彦名神社修復実行委員会(今回に限り)叶石材内 0893-24-2314

WATCH
WORLD
MONUMENTS
FUND
DAY 2014